

Alternative Plans for Oslo – Discussion over One-state and Two-state plans –

オスロ合意の代案とは何か —パレスチナ／イスラエルをめぐる一国家・二国家論争—

オスロ合意によるパレスチナ側とイスラエル側の直接交渉が始まり、20年経つ。「原則宣言」とも呼ばれるこの合意は、争われる土地にイスラエルとパレスチナという二つの政体を作る方向に向けて協議の枠組みを設定した。だが交渉は、第二次インティファダ（占領地での対イスラエル抵抗運動）の勃発とともに一度頓挫し、再開の試みもこれまでのところ順調な進展を見せていない。このワークショップでは、こうした展開への反省を踏まえた上で、オスロ合意に代わる和平への枠組みを具体的に検討していく。なかでも2000年代以降、議論が盛んになっている「一国家・二国家論争」に焦点を当て、パレスチナとイスラエルが将来めざすべき国家のあり方について議論する。グリーンライン（第三次中東戦争開戦時の境界線）を国境線とした二国家は実現可能なのか。国連総会でのパレスチナ国家承認はどのような影響力をもつのか。多様な可能性を検討していきたい。

■ **日程** : 2013年10月14日（月・祝）13:00～17:00（12:30開場）

■ **会場** : 早稲田大学 早稲田キャンパス
大隈記念タワー26号館多目的講義室（B104）
地下鉄東西線 早稲田駅から徒歩5分、都電荒川線 早稲田駅から徒歩5分

■ **使用言語** : 英語（通訳は入りません）

■ プログラム

司会 : 鈴木啓之（東京大学大学院総合文化研究科博士後期課程）

- 13:00 趣旨説明・講演者紹介
- 13:10 講演「一国家解決案を考える ～無駄な追求か今の現実か？」
ライラ・ファルサハ（マサチューセッツ大学准教授）
- 14:20 休憩
- 14:35 講演「一国家か二国家か ～幻想とリアル・ポリテイク」
ロン・プンダク（元パレスチナ平和センター事務局長）
- 15:45 総合コメント
- 16:00 総合討論
- 17:00 終了

Date: 14 October, Mon. 2013

13:00 – 17:00

Venue: Okuma memorial tower,
Bdg. No.26, Waseda University

Language: English

13:00- Opening Remarks

13:10- Report (1) Leila Farsakh

"The One State Solution: A futile
Quest or a Present Reality?"

14:35- Report (2) Ron Pundak

"One State or Two States: Illusion
vs Realpolitik"

15:45- General Comment

16:00- General Discussion

17:00 Closing

■ 講演者紹介

- ・ **ロン・プンダク (Ron Pundak)** オスロ合意のイスラエル側交渉担当者を務める。2001～2011年にパレスチナ平和センターの事務局長、現在はパレスチナ・イスラエル和平NGOフォーラムの共同代表、中東現代史の講師。



- ・ **ライラ・ファルサハ (Laila Farsakh)** マサチューセッツ大学ボストン校准教授、専門は政治学。イスラエル・パレスチナ紛争の政治経済学や、パレスチナでの一国家解決案などについて多著。主著に『イスラエルへのパレスチナ働移民』（2005）など。

